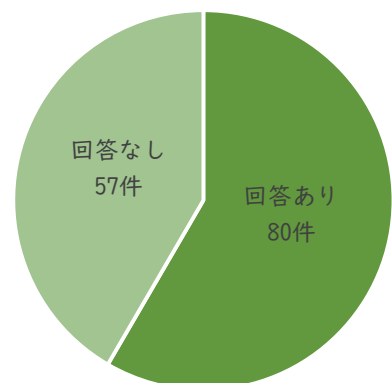


資料 2

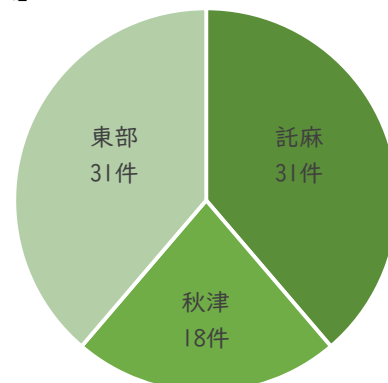
町内自治会の運営等に関するアンケートの調査結果

対象団体：東区管内町内自治会（137 団体）
調査時期：令和 2 年 8 月 20 日～令和 2 年 9 月 3 日
調査方法：アンケート用紙による調査

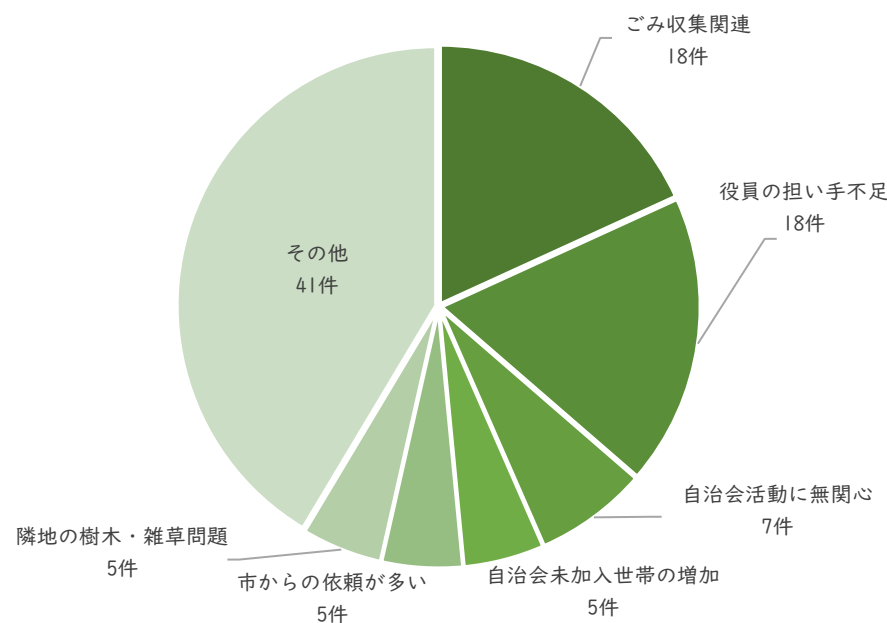
【回答数】



【まちセン別内訳】



【問 1】町内自治会の運営にあたり、困りごとなどがあれば教えてください。



町内自治会での困りごとは、「ゴミ関連」、「役員の担い手不足」が同数で最も多く、18 件に及んだ。次いで、「自治会活動に無関心」が 7 件、「自治会未加入世帯の増加」、「市からの依頼が多い」、「隣地の樹木・雑草問題」がいずれも 5 件であった。

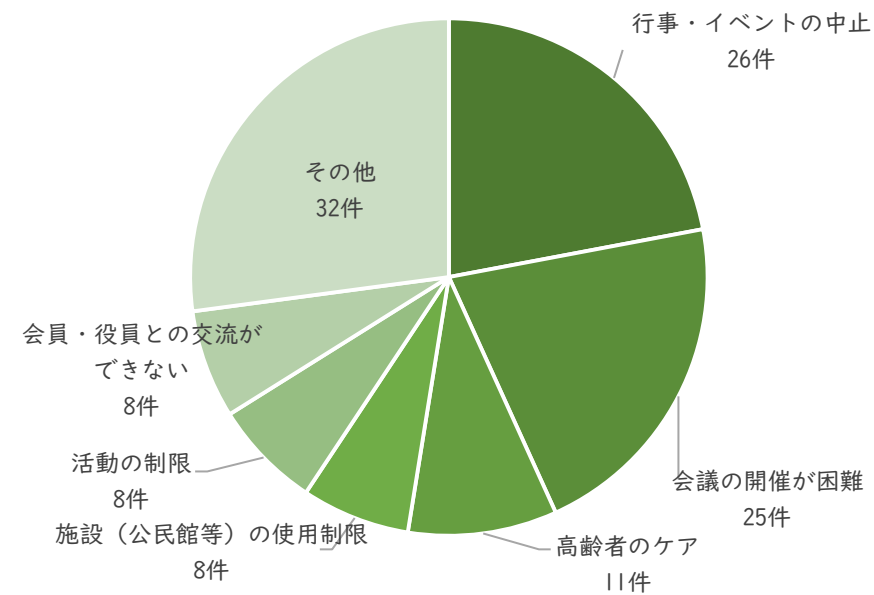
ゴミ収集関連

- ゴミステーションのルール違反者が多い。
- 町内会員でない人がゴミ出しのルールを徹底できていない。清掃をしない。
- 分別していないゴミが多い。
- 他の町内からのごみの持ち込みがある。
- 外国からの留学生、就労者への指導をしてほしい。
- 一斉清掃が中止になり、町内にごみや草が多くなった。
- ごみの持ち去りが依然として続いている。
- ルール違反者への指導強化が必要。説明会・ポスターによる啓発など。

役員の担い手不足

- 役員のなりてを見つけるのが難しい。
- 自治会役員のなりてがなく、確保に苦慮している。
- 30～40 代は共働き、50～60 は仕事や親の介護。時間に余裕がある人が少なくなっている。
- 役員交替ができない。
- 若い方が参加できていないのが問題。
- 定年延長及び働き方改革に伴い、地域活動への意識が希薄になってきている。

【問 2】新型コロナウイルス感染症の影響により、今後の地域活動を行うにあたり困りごとや課題などがあれば、教えてください。



新型コロナウイルスの影響による困りごとは、「行事・イベントの中止」が 26 件で最も多く、次いで「会議の開催」が 25 件となった。「高齢者へのケア」が 11 件となり、高齢者が引きこもることによる健康状態の悪化や安否確認に関する不安の声が多かった。「施設の使用」、「活動の制限」、「会員・役員との交流ができない」が同数で 8 件となった。

行事・イベントの中止

- 昔からの伝統行事（夏祭り、相撲など）が実施できずにいる。伝統行事が消えてしまいそうで心配。
- 町内一斉清掃など地域力強化を図るべき行事ができず、今後の自治会活動、人材育成等に影響が懸念される。
- 今年は何も行事ができていない。いつまで続くかわからないので、何をしたいかわからない。
- 町内の最大行事である春祭り・夏祭りを取りやめており、町内会の存在価値が薄れ、脱会者がでないか心配。
- 町内行事の実施判断が難しい。
- 役員のモチベーション低下。

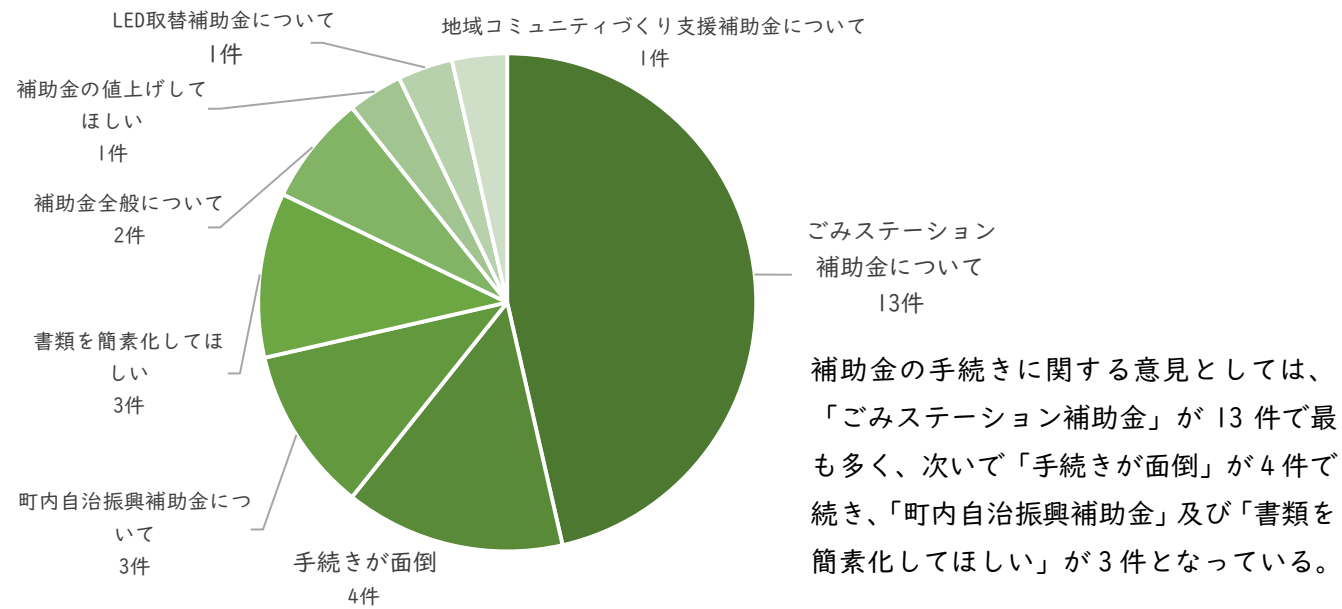
会議の開催が困難

- 次年度、定期総会ができるのか心配。
- 公民館での定例役員会を開催することができない。
- 役員の顔も覚えることができない。
- 公民館やコミセンの閉館で会議をする場所がない。
- 情報の伝達、意思疎通を図るのに苦労している。
- 会合は文書で行っており大変である。
- 本来の会議・会合ができず、個別に巡回しているため、手間や時間がかかる。

高齢者のケア

- 高齢者が引きこもることによる、運動不足が心配。
- 民生委員の活動ができない状況の中、高齢者の生活環境が懸念される。
- 高齢者のレクリエーションの場を失い、結果的に高齢者を引きこもらせていることは高齢者福祉政策上、深刻な問題。

【問3】町内自治振興補助金やごみステーション管理支援補助金などの手続きについて、
わかりにくい点やお尋ねしたいことがあれば、教えてください。



ごみステーション管理支援補助金について

- 河川改修により、ごみステーションの移動を余儀なくされ、新たな設置場所がなく困っている。
- 私有地にあるごみステーションへの補助をしてほしい。
- ごみステーションの管理が大変。補助金の増額等の補填をしてほしい。
- ごみステーションについて、どこまでが補助の対象になるのか、個別のお話で進めてもらえるのか。
- 折りたたみ式のごみステーションの設置許可を認めていただきたい。
- ごみステーションの維持のため、清掃をして飲み物を出しているのが補助金の対象外なのはおかしい。
- ごみを出す人は町内会員だけではないため、町内会員ではなく町内に住んでいる人数で補助金を出してほしい。

町内自治振興補助金について

- 防犯カメラの設置を検討中だが、助成金がでるのか。
- 自治振興やごみステーション補助金について、計画と実施が実行と結びつく補助金であってほしい。
- コロナの影響で各種イベントや会議等を中止せざるを得ない状況の中、当初予算と比べて大幅な執行残が生じられると思われる。今年度に限って、各自治会の判断による支出を認めてほしい。

手続きが面倒

- 今以上に簡単な手続きで提出できるようにしてほしい。
- 補助金の手続きが煩雑。もっと簡潔にしてほしい。
- 提出用の書類が多すぎる。
- 各補助金申請が多く、一括申請に変更してほしい。
- 申請書類の作成、捺印が多い。

【問4】その他、地域活動やまちづくりに関して、御意見や御要望があれば、
教えてください。

- 年1回は町内自治会と市担当者のミーティングが必要。
- 公務員退職者が自治会活動に携わらないのは、どこか自治会活動の問題点があると思う。
- 現在、講習会等の開催は無理でしょうが、少ない人数の会議はいかがか。
- コロナの影響で今後どのような活動をすればいいか、他の校区と足並みを揃えられるような情報を発信してほしい。
- 自治会長、公民館長研修などが中止となり、今後の運営の進め方に不安がある。
- 住民の指導という点について目を向けてもらいたい。
- ごみ減量課では、ごみステーションの補助金制度を案内するが、土木センターでは、道路脇でも設置を許可されず、結果としてごみステーションがきれいに整理されない。
- 地域コミュニティづくり支援補助金事業がいまひとつわかりづらい。
- コロナの感染が拡大しているが、市民に対する住民サービスを忘れないでほしい。
- 今後の永続的なまちづくりに有効な取り組みとして、行政と住民のコミュニケーションを充実する仕組みを考えてほしい。
- まちづくり、組織づくり、活動支援等に対してルールがあると思うが、マニュアル化して明確に伝達してほしい。
- 新任自治会長研修会で配布・説明予定の資料があれば配布してほしい。
- LED防犯灯を寿命により交換する場合の補助金を検討してほしい。
- ごみステーションにおけるカラス被害対策を行ってほしい。
- ごみステーションの違反ごみ減少のための方策を知りたい。
- コロナの収束状況を勘案しながら、自治会長会議を開催してほしい。
- 自治会のIT化補助金を設けてほしい。